

## 第4回ウィズあかし運営委員会 実施報告

日 時：平成31年7月12日(金) 18:00～20:15

場 所：ウィズあかし8階 学習室803 フリースペース

参加者：運営委員 9 名 明石コミュニティ創造協会スタッフ 10 名 市職員 1 名

1. あいさつ (明石コミュニティ創造協会 理事長 永野 潔)

2. 出席者近況報告

参加者が3グループに分かれ、ひとりずつ自己紹介を兼ねて近況報告を行いました。

3. ウィズあかし事務局より

1) 前回までの振り返り

これまで3回行われた運営委員会の内容を振り返りました。

・第1回 (8月20日)

テーマ：「ウィズあかしの歩み・現状」

意見交換：ウィズあかしに期待すること

・第2回 (11月11日)

講演「これからのウィズあかしに期待される姿」中川郁郎先生 (帝塚山大学名誉教授)

・第3回 (2月12日)

テーマ：「これからのウィズあかし」

意見交換：2019年度の取り組みへのアイデア・アドバイス

2) 明石の生涯学習のあゆみ

生涯学習センターとコミュニティセンター、及び、あかねが丘学園を中心とした高齢者学習の取り組みについて、設立から現在までの経緯を時系列で説明。

4. 大阪市立総合生涯学習センター 土橋所長より大阪市の取り組みをご紹介します。

テーマ：「大阪市における生涯学習施策の概要と大阪市総合生涯学習センターの取り組みについて」

## 5. 意見交換および全体共有

グループごとに意見交換を行い、各委員より下記の意見が出されました。

### 【テーマ：明石において、どのように生涯学習を推進・展開していくべきか】

- 必要な人（独居・ひきこもり・外国人など…）に届く生涯学習が必要。
- 市民の身近なネットワークを活用すべき。そのためには福祉など他機関との連携が必要。
- アプリケーションの活用を図っては（例えば PoliPoli/政治と繋がる SNS のような）。
- SNS や口コミは重要。
- ひらがな、分かりやすい表記などの配慮は大切。
- 「生涯学習」の名称がよくない。ハードルが高そう。
- 「生涯学習」をもっと気楽に。
- 文化や芸術など、ジャンルを超えてごちゃまぜの方が面白い。
- ボランティアの横のつながりがいい。
- 指導者の発掘は大切。
- 若い世代にも仕事とは別に学ぶ機会を提供すれば、結果としてキャリアアップにもつながる。
- 地域の強みを生かしてほしい。
- まちづくり協議会と関わってはどうか。
- 生涯学習の成果はどのように評価すべきか？社会への還元率で図るべきなのか。

### 【テーマ：ウィズあかしの役割は？】

- どのような利用ができるのかの認知度が低い。機会提供のための情報発信が必要。
- 明石ならではの人・モノ・コトに繋がってほしい。
- 企業の CSR と地域を結ぶ取り組みができれば…。
- あかねが丘学園と連携し、学園の卒業生の活躍の場をつくってほしい。
- 「やりたい」「学びたい」という人へ、入り口を提供してほしい。
- 学びから「つながりたい」というアクションを生み出せるしかけを。
- ウィズあかしとコミセンなど、学びの場のつながりの強化が必要。
- 市やウィズあかしで人材を育成し、派遣する取り組みが必要。
- 市民の身近な学びや交流の場になるのはやはりコミセンだろう。ウィズあかしは明石市内の中心を担う施設として、コミセンは地域の拠点施設として、それぞれの役割を持ちながら連携するのが望ましい。

## 6. 今後の運営委員会について

今年度中に、2回開催予定。